

競技注意事項

1. 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則および大会要項によって行う。
2. ビブス（ナンバーカード）
 - (1) ユニホームの胸・背には、配布された大きさのままで確実につける。
(ただし、跳躍競技は、胸または背につけるだけでよい。)
 - (2) トラック競技に参加する競技者は、招集所で配布された腰ビブス（腰ナンバーカード）を右腰部につける。
 - (3) 腰ビブス（腰ナンバーカード）は、フィニッシュ後、直ちに係員に返却すること。

3. 招集について

- (1) 招集所は、100m スタート付近スタンド下に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは、棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集時間は、次の通りとする。

	招集開始時間	招集完了時刻
トラック競技	30 分前	20 分前
跳躍競技	50 分前	40 分前
投てき競技	50 分前	40 分前

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出ること。
- (5) リレー競技のオーダーは、決勝競技開始 60 分前までに招集所にオーダー用紙を記入後 1 部提出する。
(用紙は、プログラム巻末に添付。)

4. レーン・試技順について

トラック競技のレーン・フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

5. 競技について

フィールド競技の練習は、招集後審判員の指示によって行う。

6. (1) 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。（ただし、天候等により審判長の判断で変更することもある。）

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	以後 3 cm
女子走高跳	1m40	1m45	1m50	1m55	1m6	1m65	1m70	以後 3 cm
男子棒高跳	3m80	3m90	4m00	4m20	4m40	4m60	4m80	以後 5 cm

- (2) 男女やり投の計測ラインは、男子やり投 47m、女子やり投 28m とする。

7. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、原則として主催者が用意したものを使用する。
- (2) 投てき器具については、競技開始 1 時間前までに 100m フィニッシュ付近前の器具庫で検査に合格したものだけの使用を認める。ただし、競技場の器具と同様に使用する。

8. ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、グラウンド横の練習補助競技場所④を使用する。
- (2) 投てき種目は練習ができないため、競技開始前に競技役員の指示により行う。

9. 競技用スパイクについて

- (1) スパイクの数は、11 本以内で長さ 9mm、走高跳・やり投は、12mm を超えてはならない。

10. 表彰について

- (1) 表彰は各種目決勝終了後に行う。3 位までの入賞者は速やかに表彰控所に集合すること。
- (2) 各種目 1 位～3 位までに賞状を授与する。各種目の優勝者には副賞を授与する
- (3) 優秀競技者には、MVP 賞：男女各 1 名（各 25 万円）、MIP 賞：男女通じて 1 名（10 万円）及び敢闘賞：男女各 2 名（各 5 万円）を授与する。

11. その他

エントリー後に棄権する場合は、プログラム巻末に添付してある欠場届を本部に提出すること。（実業団選手のみ）